

教科	国語科	科目	論理国語	単位数	4	学年	3
学科 ・ コース	普通科 特進コース、看護医療進学コース						
教科書	『精選 論理国語』数研出版	副教材	『新訂版 最新国語便覧』浜島書店 教科書準拠学習課題ノート 辞書アプリ 〈特進コースのみ〉 『LT 現代文3』浜島書店 『大学入学共通テスト演習現代文』いいずな書店 『語彙力と理解力をつける現代文単語』数研出版 『日本文学史 必携』第一学習社				
科目の概要	「現代の国語」「言語文化」の学習内容を発展させ、近代以降の論理的文章を読む。考える力、資料を的確に読み取る力、記述力を養う。報告書、小論文を書くことで入学試験対策を行い、あるいは社会で役立つ力を身につけるものとする。将来にわたって必要な、大きな軸となる学力を養うことを目標とする。		評価の観点	次の三観点で評価を行う。 「知識・技能」は、学習内容を理解できているかどうか。 「思考・判断・表現」は、文章内容を自分の知識とし、更に発展的に考えることができているか、課題をきちんと仕上げ、期日通り提出できるかどうか、など。 「主体的に学習に取り組む態度」は、国語の力を伸ばすために積極的かつ主体的に学習しているかどうか、など。			
			評価方法	「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の三観点を2：2：1の割合で判断する。 ノート、授業態度、学習意欲、家庭学習の提出物、小テスト、自己評価などで総合的に判断する。			
授業内容	【1学期】	評論・報告書・小論文	学習方法	基礎知識の習得にはプリントなどを用いて学習を進める。各評論の学習後には要約をし、まとめる力や記述力を身に着ける。また、問題意識をもって内容読解をすることで、自らの意見を述べられるように努め、小論文作成へとつなげる。適宜グループワークを行い、物事を多角的に捉える力を養う。授業後、教科書準拠学習課題ノートで再度内容の確認を行う。			
	【2学期】	評論・小論文		備考	模試の時期に合わせて適宜問題演習を行う。		
	【3学期】	評論					
	年間を通して漢字学習と読書活動に取り組む。						

教科	国語科	科目	論理国語	単位数	4	学年	3
学科 ・ コース	普通科 幼児教育コース、総合キャリアコース、スポーツコース、音楽コース 美術科 アート・イラスト・アニメーションコース						
教科書	『論理国語』数研出版		副 教 材	『新訂版 最新国語便覧』浜島書店 教科書準拠学習課題ノート 辞書アプリ			
科目の概要	「現代の国語」「言語文化」の学習内容を発展させ、近代以降の論理的文章を読む。考える力、資料を的確に読み取る力、記述力を養う。報告書、小論文を書くことで入学試験対策を行い、あるいは社会で役立つ力を身につけるものとする。将来にわたって必要な、大きな軸となる学力を養うことを目標とする。			評価の観点	次の三観点で評価を行う。 「知識・技能」は、学習内容を理解できているかどうか。 「思考・判断・表現」は、文章内容を自分の知識とし、更に発展的に考えることができてきているか、課題をきちんと仕上げ、期日通り提出できるかどうか、など。 「主体的に学習に取り組む態度」は、国語の力を伸ばすために積極的かつ主体的に学習しているかどうか、など。		
				評価方法	「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の三観点を2：2：1の割合で判断する。 ノート、授業態度、学習意欲、家庭学習の提出物、小テスト、自己評価などで総合的に判断する。		
授業内容	【1学期】 評論・報告書・小論文			学習方法	基礎知識の習得にはプリントなどを用いて学習を進める。各評論の学習後には要約をし、まとめる力や記述力を身に着ける。また、問題意識をもって内容読解をすることで、自らの意見を述べられるように努め、小論文作成へとつなげる。適宜グループワークを行い、物事を多角的に捉える力を養う。授業後、教科書準拠学習課題ノートで再度内容の確認を行う。		
	【2学期】 評論・小論文				備考	模試の時期に合わせて適宜問題演習を行う。	
【3学期】 評論			年間を通して漢字学習と読書活動に取り組む。				

教科	国語科	科目	古典探究	単位数	2	学年	3
学科 ・ コース	普通科 特進コース						
教科書	東京書籍『精選古典探究 古文編』 東京書籍『精選古典探究 漢文編』	副 教 材	『巻頭増補版 最新国語便覧』浜島書店 『Key&Point 古文単語 330 三訂版』いいずな書店 『八訂版 読解を大切にする古典文法』数研出版 『体系漢文』数研出版 『LT古文3』浜島書店 『大学入学共通テスト演習 古典』いいずな書店 『日本文学史 必携』第一学習社 / 辞書アプリ				
科目 の 概 要	記述式問題の演習では、私大・国公立二次試験を意識し、書くことを重視する。マーク式問題の演習では、大学入学共通テストを意識する。 古文単語・文法・漢文句形をもとに、設問を丁寧解く。 必要に応じて文学史の確認をする。		評 価 の 観 点	「知識・技能」…「言語文化」での既習事項（用言・助動詞の活用）に加え、敬語表現・助詞・副詞などの古典文法及び漢文訓読法習得の定着ができているか。 「思考・判断・表現」…古典の内容を理解し、それを発展させて考え、課題や発表の中で自分なりにきちんと表現できているかどうか。 「主体的に学習に取り組む態度」…古典に興味を持ち、予習や復習を自発的に行っているかどうか。			
			評 価 方 法	「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の三観点を2：2：1の割合で判断する。 定期考査、ノートや副教材などの学習内容、授業態度、学習意欲、提出物の内容および提出状況、小テスト、自己評価などで総合的に判断する。			
授 業 内 容	年間を通じて、問題演習を行う。 【1学期】 記述形式の問題演習（古文） 【2学期】 記述形式の問題演習（古文） マーク方式の問題演習（古文・漢文） 【3学期】 入試直前対策		学 習 方 法	古語文法・敬語・和歌の修辞・漢文の句法の総復習 入試対策の要点・解法の理解 速読の訓練			
			備 考	模試の時期に合わせて適宜模試対策を行う。			

教科	国語科	科目	古典探究	単位数	2	学年	3
学科 ・ コース	普通科 幼児教育コース、総合キャリアコース、スポーツコース、音楽コース、看護医療進学コース						
教科書	東京書籍『精選古典探究 古文編』 東京書籍『精選古典探究 漢文編』	副 教 材	東京書籍『精選古典探究 古文編 学習課題ノート』 東京書籍『精選古典探究 漢文編 学習課題ノート』 『巻頭増補版 最新国語便覧』浜島書店 『基礎からのジャンプアップノート古典文法・演習ドリル』旺文社 辞書アプリ				
科目 の 概 要	<p>「言語文化」で育成された資質・能力のうち「伝統的な言語文化に関する理解」をより深める。</p> <p>古典を主体的に読み深めることを通して、伝統と文化の基盤としての古典の重要性を理解する。</p> <p>古典作品に関連のある事柄について様々な資料を調べ、その成果を発表したり報告書などにまとめたりする。</p> <p>古典の意義や価値について探求する資質・能力をつける。</p> <p>日本の文化の特質や、日本の文化と中国など外国の文化との関係を考える。</p>		評価 の 観 点	<p>「知識・技能」…「言語文化」での既習事項（用言・助動詞の活用）に加え、敬語表現・助詞・副詞などの古典文法及び漢文訓読法習得の定着ができていますか。</p> <p>「思考・判断・表現」…古典の内容を理解し、それを発展させて考え、課題や発表の中で自分なりにきちんと表現できているかどうか。</p> <p>「主体的に学習に取り組む態度」…古典に興味を持ち、予習や復習を自発的に行っているかどうか。</p>			
授 業 内 容	<p>古典作品全般（古文、漢文に偏りなく扱う）</p> <p>【1学期】 古文：説話、作り物語、文学史 漢文：史話</p> <p>【2学期】 古文：歴史物語、日記 漢文：詩（近体詩）</p> <p>【3学期】 古文：説話、作り物語 漢文：詩（日本の漢詩）</p>		評価 方 法	<p>「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の三観点を2：2：1の割合で判断する。</p> <p>定期考査、ノートや副教材などの学習内容、授業態度、学習意欲、提出物の内容および提出状況、小テスト、自己評価などで総合的に判断する。</p>			
			学 習 方 法	<p>予習として本文を何度も読み、語句の意味などをあらかじめ辞書で調べておく。</p> <p>授業には集中して取り組み、ただ板書を写すだけでなく、自分なりのノートを作成できるよう工夫する。</p> <p>復習では高い意識で家庭学習にのぞみ、授業で習った文法事項などを定着できるよう反復練習を行う。</p>			
			備 考	適宜、レポート課題やグループワーク、発表を取り入れる。			

教科	国語科	科目	(学) 国語特講	単位数	2	学年	3
学科 ・ コース	普通科 総合キャリアコース、幼児教育コース、スポーツコース						
教科書	なし		副教材	『アライブ国語常識』 浜島書店 『1日1講 現代文評論②』 三省堂 『巻頭増補版 最新国語便覧』 浜島書店 必要であれば適宜追加で購入する。			
科目の概要	文章読解力・文章作成力・語彙力・校正力に関する様々な知識を習得することを主な学習目標とする。それぞれの学習状況に応じて、様々な教材を活用して学びを深める。また、演習プリントなどで多くの問題を解き、上述の知識を実践の中で定着させていく。			評価の観点	【知識・技能】慣用句やことわざ、四字熟語などの国語常識を正しく身につけているか。文章を読み、内容を正しく理解できているか、などの観点で評価する。 【思考力・判断力・表現力】文章や資料などから読み取ったことを整理し、要約したり、自分の考えとして表現したりできるかを評価する。 【主体的態度】進路先・受験スケジュールを見据え、自ら計画して予習・復習をできているか、常に自分の学びを振り返っているかなどで評価する。		
				評価方法	「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の三観点を2：2：1の割合で判断する。 定期考査、課題などの学習内容、授業態度、学習意欲、提出物の内容および提出状況、小テスト、自己評価などで総合的に判断する。		
授業内容	《年間を通して取り組むもの》 文章読解をはじめとする各種問題演習 漢字の読み、書き取り 基礎的文学史、慣用句、敬語等の教養			学習方法	授業時に解いた問題は、解説を受けて解き方を確認する。授業内で取り組んだものは、原則、毎授業後に提出する。教材内の漢字や国語常識の習得をめざして自学自習も並行し、その成果物も定期考査毎に提出する。随時、グループワークや発表等も行う。		
	【1学期】 自己推薦文（作文）、志望理由書（作文）、面接対策対策（ペア・グループワーク） 【2学期】 リーディングスキルテスト、資料分析、意見文、通信文など 【3学期】 「高校生活で得たもの」というテーマでプレゼンテーション				備考		

教科	芸術科（音楽）	科目	音楽Ⅱ	単位数	2	学年	3	
学科 ・ コース	普通科 幼児教育コース							
教科書	音楽Ⅱ Tutti+		副 教 材	MUSIC NOTE 楽典のプリント配布				
科目の概要	<p>上級学校進学に向けて、また保育者になる為に必要な音楽知識・技術をしっかりと身につける。</p> <p>基礎とともに、応用も含めて、音楽理論の理解や、読譜力を高める。</p> <p>また、音楽の幅広い活動を通じて音楽を愛好する心情を育て、創造的な表現力を伸ばす。</p>			評価の観点	<p>① 知識・技能の習得 楽典を理解する。</p> <p>② 思考力、判断力、表現力の育成 実技は発表形式で評価する。また練習レポートなどで練習過程も評価する。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 意欲的に歌唱、演奏などを行っているか、また練習過程のワークシートなどで評価する。</p>			
				評価方法	<p>上記の3つの評価の観点から総合的に判断して評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・実技試験 ・提出物、小テストなど 			
授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・発声練習・童謡・合唱・練習曲歌唱 ・楽典（2年生から発展させた内容） ・リズム課題 ・鑑賞（レポートなど課題あり） 			学習方法	<p>まず1年生の基礎と2年生の授業内容を理解すること。</p> <p>ピアノの授業と関連しているのでピアノの練習をするときも楽典の内容を意識して学習するとよい。</p>			
				備考				